

**CONFIDENTIAL**

# ハイブリッド型災害防災対応まちづくり総合計画 『Self Economic Growth計画』

仙台カジノサステイナブル  
まちづくり総合推進研究会

# はじめに

**カジノ 20年までに3カ所**

**政府検討 大阪・沖縄など候補**

政府は東京五輪を準備する2020年までに3カ所前後で、カジノの開設を認める検討に入った。大阪、沖縄などが候補となる見通しだ。外国人の入場料は暫くし、誘客効果の大きいカジノをテコに訪日外国人の増加につける。日本人の場は、整千程度を徴収するなど制限を加える方向だが、キャンセル依存症や治安の悪化をマイナス面への対策が欠かせない。

**外国人誘客 日本人には入場料**

カジノ解禁を巡って、自民党や日本維新の会など超党派の議員連盟は、議員立法の成立を目指す。民設経営のカジノを認め、防犯カメラの設置など、治安の悪化などの弊害を除去し、資金洗浄の確保など、その分だけ反社会的勢力の資金源にならないよう、政府が法案を提出する必要がある。このため政府は今年度は、内閣官房に経済産業省、国土交通省、警視庁など省庁横断の約40人の準備組織を立ち上げた。議員立法の成立後、1年程度かけて、カジノ運営のルール作りや法整備にあたる中核部隊となる。政府関係者によれば、カジノ誘致に関心を示している約20の自治体のうち候補地を3カ所前後に絞る方針だ。臨海部の人工島や、臨海部の人工島「夢洲」が候補地として挙げられている。大阪府の人工島「夢洲」が候補地として挙げられている。大阪府の人工島「夢洲」が候補地として挙げられている。

**治安・依存症**

日本の刑法が罰則、賭博行為を認めていないのは、社会的な弊害が大きい。政府が法案を提出する必要がある。このため政府は今年度は、内閣官房に経済産業省、国土交通省、警視庁など省庁横断の約40人の準備組織を立ち上げた。議員立法の成立後、1年程度かけて、カジノ運営のルール作りや法整備にあたる中核部隊となる。政府関係者によれば、カジノ誘致に関心を示している約20の自治体のうち候補地を3カ所前後に絞る方針だ。臨海部の人工島や、臨海部の人工島「夢洲」が候補地として挙げられている。大阪府の人工島「夢洲」が候補地として挙げられている。

2013/7/26日本経済新聞

3カ所のカジノ予定  
東京都はもちろんのこと、それ以上に必要不可欠な候補地はありませんか？



それが**仙台**です。  
空港の横に広がる広大な土地  
歴史に残る復旧・復興を遂げ  
歴史に残る町おこし・町づくりを。



仙台空港横に広がる広大な土地

第一カジノ街



仙台空港から1時間の広大な土地

第二カジノ街

## 「仙台」「カジノ」「サステイナブル」まちづくりが**焦眉の急**としての**第一歩**

# はじめに

## 現在の計画は果たして正しいのか

14.6mの津波があった地区に  
**半分の7.2mの防潮堤建設。**  
岩手県だけで2,700億円の投資予定。  
1,100mで260億円の建設費用。

※参考：第6章被災した海岸堤防の新たな津波対策——宮城県



海という景観も損なわれる上に、  
実際にほぼ効果が見込まれないのでは？



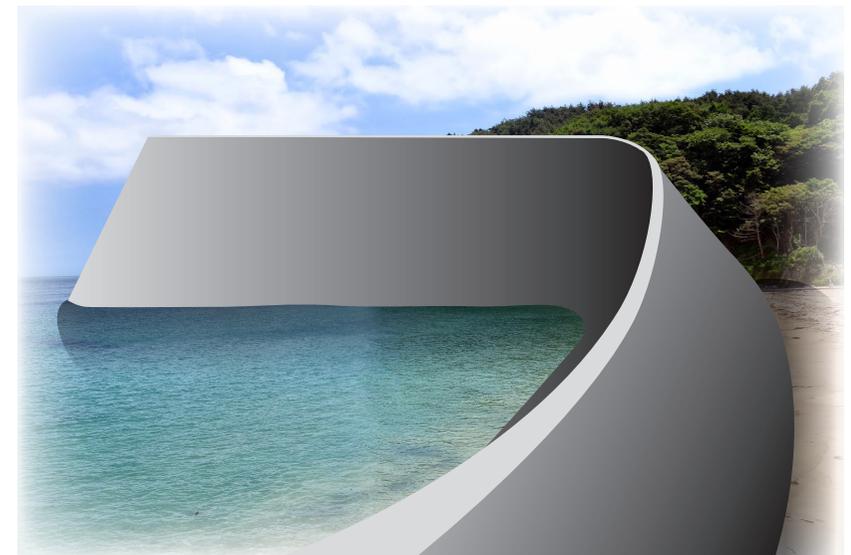
もっと復興施策と災害対策を共に実現できる  
有効的な手段はないだろうか。



そこでご提案するのが  
**自ら経済成長するまちづくり**  
つまり『Self Economic Growth計画』です。



荒浜 (石巻市雄勝)



イメージ

# 自己成長させるために

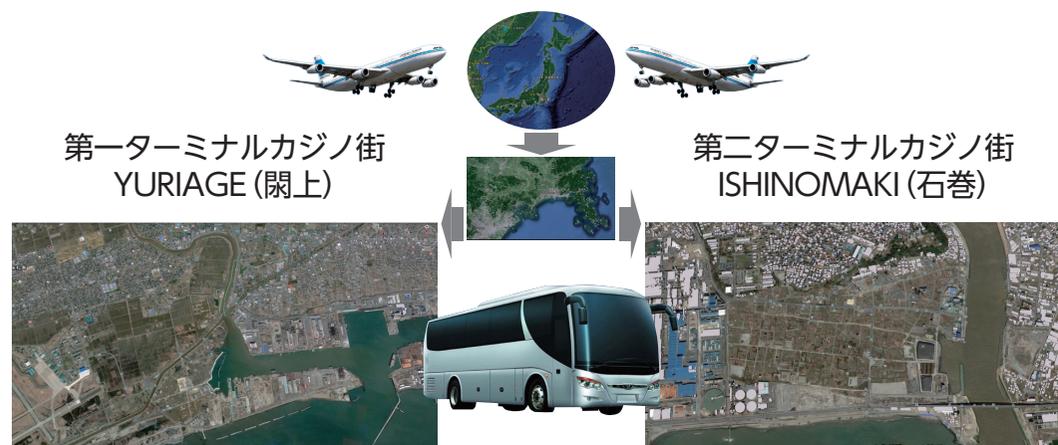
## 国際観光都市としての「SEND<sup>AI</sup>」 -International City-

漢字から国際的なアルファベットに変えたことで「SEND」と「AI」という単語が浮かんできました。  
「仙台」からまさに被災地から世界に「愛を贈る」「愛を届ける」というロゴ体が生まれました。

1964年東京オリンピックに向け、  
首都高・名神高速・新幹線を作った日本。  
これが最新の形でサスティナブルな自己成長をしている。  
2020年<フレフレ>オリンピック・パラリンピック東京大会大成功ののち、  
「閑上」「石巻」にバーンアウトしない未来に続くまちづくりを。

カジノを中心とした国際観光都市「SEND<sup>AI</sup>」をつくる。  
未曾有の被災地の復興が、世界中の模範となり、勇気づけられ、  
安心して世界中から訪れられる安全な国際観光都市を目指します。

仙台空港をハブ空港とし、世界中からの集客を目指す。



第一ターミナルと第二ターミナルをシャトルバスで接続する。(移動時間：1時間)

支援だけに頼らずとも  
街が復旧・復興していく

エンターテインメントシティー  
「カジノ(シアター、娯楽)」を  
中心にまちづくり

世界中から富裕層を  
中心に人が集まる

雇用拡大し、就労人口と  
正比例して定着した居住

ハイブリッド型災害対応  
防災まちづくり総合計画(仮)  
に基づいて  
自ら成長し当該地と日本経済が  
潤い向上し続ける

# カジノ施設をハイブリッド型災害対応防災拠点に

## ハイブリッド型災害対応防災拠点とは…

「平常時」「災害時(有事)」の初の両立を目指す  
**地方創生のため**のハイブリッド型災害対応まちづくり



「地方創生」のために「人口増加」「住みやすい地方」

## ハイブリッド型施設の例

平常時

地域経済拠点として  
 最先端の国際観光都市  
**SENDAI**  
 -International City-



災害時

防災拠点として最先端の  
 災害対応防災・国際観光都市  
**SENDAI**  
 -International City-



# ハイブリッド型災害対応防災拠点の内容

## 平常時 地域経済拠点化へ



### 駐車スペースの確保

- 山の高さまであった津波に対し、1Fを巨大駐車場とし津波のない高さにカジノ施設を作る。

※ P.6 フロートシティ創生技術開発交付金(仮)を参照



### 周辺との共助のために

- 周辺の風紀、環境の保全のために、**交通整理も含め常時警備員を配置**、周辺道路にも配置
- ヨットハーバーも隣接する
- 顔認証型防犯カメラの設置  
国際指名手配犯などの検挙にも貢献できるよう
- 環境保全のため、職員による**周辺の清掃**を行う
- 地元雇用の促進のために、**女性**にも働きやすいよう**保育施設も近隣に** (自治体との相談) 検討も考慮



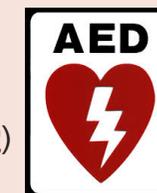
通常はデジタルサイネージによる自動販売機

## 災害時 防災拠点化するための機能



### 防災拠点に必要な機能／平常時に有効活用できる工夫

- 電気(新エネルギー『**太陽光発電**など』を**自家発電**)
- 電気自動車充電スタンド**
- 屋上にヘリポートを設置して救援援助をおこなう
- ヨットハーバーが人命救助のボートとして活用される
- ガス・水道のインフラ設備
- 防災倉庫、食品庫(1ヵ月耐えうる備蓄)
- 仮設テント**、**仮設トイレ**などの準備
- 井戸**、**地下水**の有効活用
- 次世代型自動販売機**の設置
- 周辺住民、学校への物資、エネルギーの提供  
→携帯スマホの**複数台の一括充電**など
- 薬品**の提供  
→**AED**の設置、**消火器**の提供、**災害時支援物資**の提供
- 災害情報の発信や情報共有機能としての設備



有事には防災情報・安否確認を表示

# 復旧・復興への近道

## 国際観光都市 **SEND<sup>AI</sup>** (仙台) を建設する

### フロートシティ創生技術開発交付金(仮)

世界初のフロートシティで防災のために  
内閣府の特命により助成金・交付金を用意して  
オールジャパンの英知を集めた建築・建設で津  
波に流され**沈まない街**、まさに世界初の**フロ  
ートシティ**を2020年に向けて研究・開発・実施  
し施工を目指す。

自治体が**財政向上し続ける**  
サスティナブルな**街づくり**。

新たな条例として、  
**仙台カジノサスティナブル基本法**を設置し、  
カジノ税、その他通常税の増額らを産み出す  
※自ら成長し続ける国際観光都市の経済的要因のひとつとなる。



「命の方舟」が用意された高床式の最先端耐震・防潮技術開発による  
フロートシティ

### その他のメリット

津波に耐えうる**総合技術開発への投資**

技術を海外の津波被災地らに  
輸出したりODAを行える

固定資産税などを3倍にする・・・など

税収が上がり、地方と国も潤い、  
他県への**模範**となる・・・

国の官僚OBの高水準な管理監督する  
総合メンテナンス

警備・メンテナンス・清掃を行う  
新しい社団法人の創生が必要